

## 事例4

## 丸太を切って森林を知ろう！

内容	スギ、ヒノキを切り、広葉樹との違いを知り、輪切りでコースターを作り、木の良さや森林の働きを知る。
ねらい	間伐など、森林を手入れする事により、「緑のダム」といった水源かん養・洪水緩和、水質浄化、根の地盤支持による土砂流出防止、二酸化炭素の吸収などの森林の働きが発揮されやすくなることを知る。 「森林の伐採(利用)→植える→育てる→利用する」といった森林の循環的利用への理解の促進を図る。
学習効果	体験、道具の使い方の学び
関連教科	理科、社会
対象学年	小学校3年生以上
対象人数	約20～25名程度 進行グループ4班
場所	運動場、室内(ビニールシートを敷く)
時期	通年
進め方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全体の進め方やノコギリの安全な使い方を十分説明する。</li> <li>2. 準備体操を行う。</li> <li>3. グループを5人程度に班分けして班長を1名ずつ決める。</li> <li>4. 丸太切りは、各班に先生又は保護者等が1名ずつ付く。 ※ 森のせんせいを複数で派遣してサポートすることも可能です。ただし、その際は講師料が追加で必要となります。</li> <li>5. 丸太は杉、檜、雑木(カシ類)を準備するので、班ごとに好きな丸太を選んで切る。時間に余裕があれば各自2本を切る。</li> <li>6. 丸太を切り、年輪を数えて年数を知る。その後コースター作りを行う。(カラーペンは学校で準備)</li> <li>7. 切った輪切りの匂い当てゲームを行う。板はあらかじめ準備したものを使用する。</li> <li>8. 森林の手入れや森林の機能の大切さを解説する。</li> <li>9. 全員でふりかえりを行う。</li> </ol>

ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノコギリの使い方や安全管理を学ぶ。</li> <li>・木の匂いが樹種によって違う事や木材の良さを知る。</li> <li>・森林の手入れをする事により森林の機能が発揮されやすくなることを知る。</li> </ul>
道具・材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・丸太 長さ約1m(乗用車に乗る程度のもの)</li> <li>スギ、ヒノキ、カシ計10本程度</li> <li>・ノコギリ5本</li> <li>・各自で準備するもの:長ズボン、長袖、軍手、カラーペン、ごみ袋</li> </ul>
所要時間	90分程度
経費	<p>講師料 5,000円          交通費 紀北町内無料          隣接市町1,000円          県内3,000円+高速代実費(使用の場合)          材料費無料          計 6,000~12,000円程度</p>
森のせい 氏名・団体名	奥川 次郎



左上:広葉樹の円盤 右上:桧丸太切りの予定太さ  
 左下:桧(枝打ち)の円盤 右下:杉の円盤

広葉樹と針葉樹の違い、桧と杉の違いについての説明資料



伐採したヒノキのニオイ当て  
 杉、けやき、ヒバ、ひのき、かや、ほおのきから選ぶゲーム

写真は、大河内小学校のホームページより(学校林)  
 ホオノキの板と葉の説明